

文京区立千駄木小学校、文林中学校及び千駄木幼稚園等
改築基本計画（案）

令和 8 年 9 月
文京区教育委員会

文京区立千駄木小学校、文林中学校及び千駄木幼稚園等改築基本計画

目次

- 1 はじめに
 - (1) 背景
 - (2) 基本計画の目的
- 2 千駄木小学校等改築計画の概要
 - (1) 計画地の概要及び周辺環境
 - (2) 各施設の概要
 - (3) 計画建物の想定諸室
 - (4) 設計に向けての留意事項
 - (5) 事業スケジュール（予定）
- 3 基本計画
 - (1) 配置計画等
 - (2) プールの整備手法
 - (3) 基本設計に向けて
- 4 文京区立千駄木小学校、文林中学校及び千駄木幼稚園等改築基本計画に関する地域懇談会
 - (1) 概要
 - (2) 参加者
 - (3) 各回のテーマ
 - (4) 配置比較検討
 - (5) 意見まとめ | 計画に取り入れたことと今後の課題
- 5 こどもの意見聴取
 - (1) 千駄木幼稚園
 - (2) 千駄木小学校
 - (3) 文林中学校
- 6 新しい学校の姿

1 はじめに

(1) 背景

教育委員会では、施設の老朽化等に伴う千駄木小学校等の改築計画について、地域環境や校地の特性等を考慮し、多種多様な学習活動に対応する指導が可能な学校施設のあり方について検討することを目的に、令和2年1月、「文京区立千駄木小学校等基本構想検討委員会」を設置した。検討委員会では、文林中学校、千駄木幼稚園、千駄木育成室、文林中学校育成室及び文林中学校第二育成室を含めた一体的な整備や、必要となる諸室等、改築の基本的な方針について検討し、令和6年3月、千駄木小学校等改築基本構想検討委員会報告書として取りまとめた。この報告書を基に、令和6年5月、文京区立千駄木小学校等改築整備方針を策定したところである。

(2) 基本計画の目的

本改築の設計業務にあたっては、小学校、中学校及び幼稚園の敷地を一体的に活用することを前提とした検討を進めていく必要があるが、敷地面積が広く、様々な選択肢が考えられるため、基本設計の前段階として、校舎の配置計画等、設計の根幹となる方針について定める必要があった。

そこで、学校関係者及び地域住民等の意見を設計内容に反映することを目的として、学校関係者、保護者、学区域内町会代表者及び公募区民等で構成する「文京区立千駄木小学校、文林中学校及び千駄木幼稚園等改築基本計画に関する地域懇談会」（以下「地域懇談会」という。）を設置し、校舎の配置計画やプールの整備手法等について意見交換を行ってきたところである。

本基本計画は、地域懇談会において検討した、設計の根幹となる方針について定めており、今後の基本・実施設計については、本基本計画を踏まえつつ、建築諸条件や経費等、諸条件を総合的に判断の上、検討を進めていくものとする。

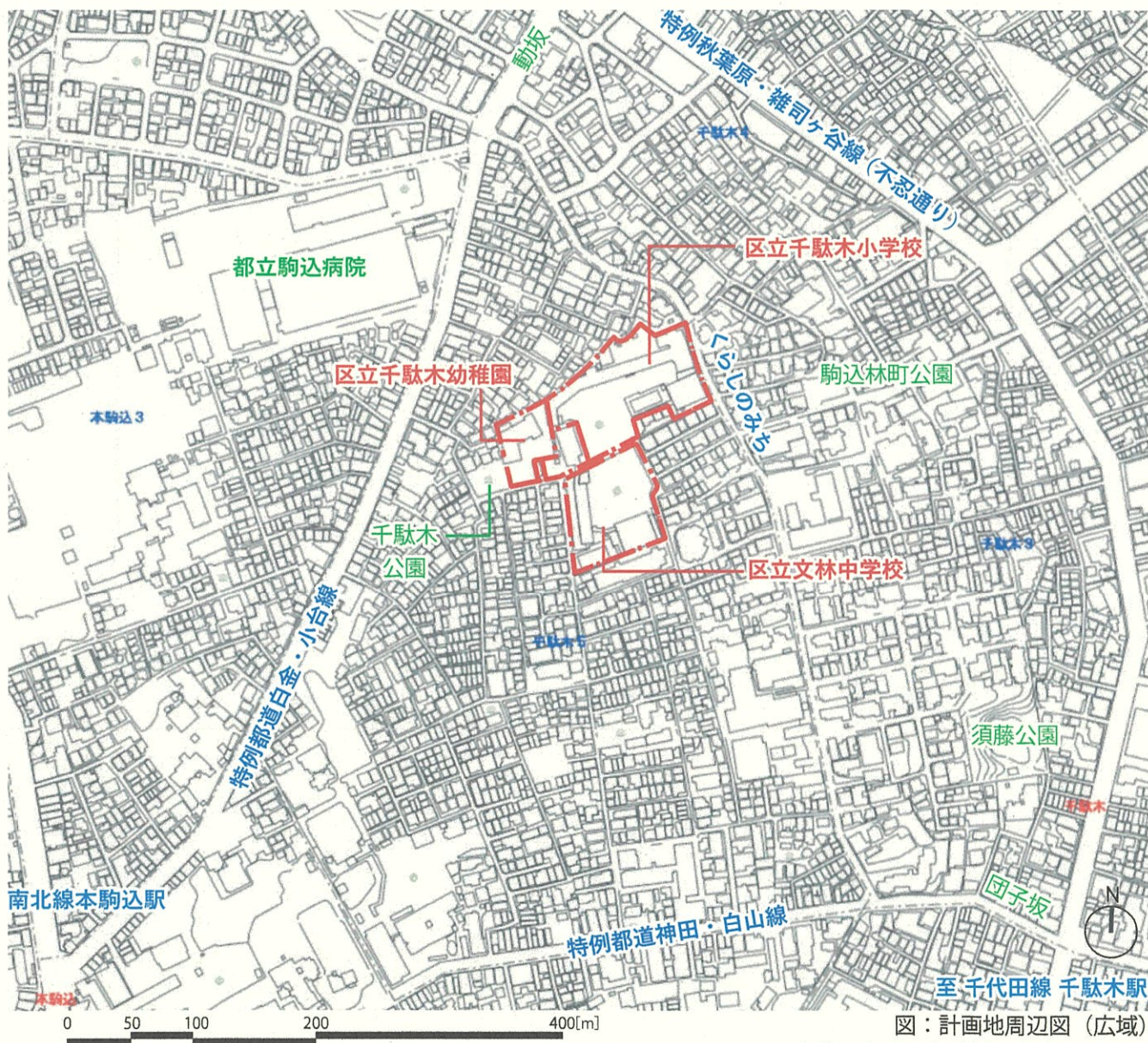
2 千駄木小学校等改築計画の概要

(1) 計画地の概要及び周辺環境

文京区立千駄木小学校、文林中学校及び千駄木幼稚園は、東京メトロ千代田線千駄木駅から徒歩約10分の位置に立地している。

計画地周辺は閑静な住宅街が広がっており、都立駒込病院や千駄木公園をはじめとした多くの公園が点在している。また、千駄木小学校に面しているくらしのみちにおいては、一方通行化による交通規制の変更及び電線共同溝整備により歩行空間を広げるとともに、狭さく等による速度抑制対策や交差点の明確化を行われており、歩行者にとって安全な道路環境が整えられている。

- ①計画敷地 ア 千駄木小学校 東京都文京区千駄木五丁目 44 番 2 号
 イ 文林中学校 東京都文京区千駄木五丁目 25 番 10 号
 ウ 千駄木幼稚園 東京都文京区千駄木五丁目 43 番 3 号
- ②用途地域 第一種中高層住居専用地域
- ③高度地区 17m第三種高度地区
- ④敷地面積 19,393 m²
- ⑤日影規制 4時間 - 2.5 時間 (測定面 4 m)

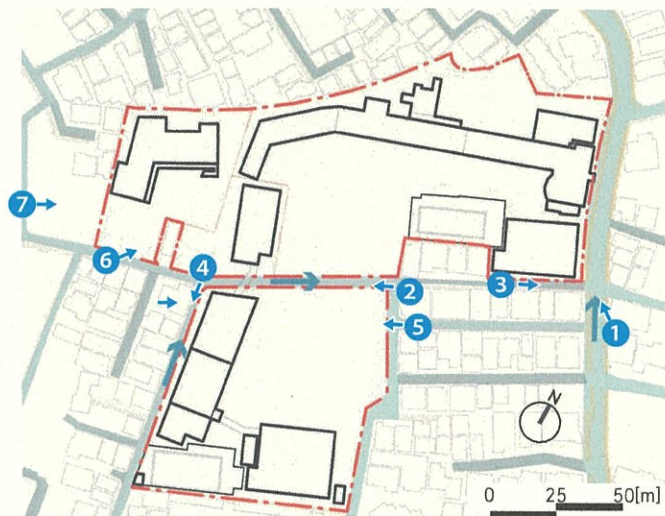


図：計画地周辺図（広域）

出典：文京区都市計画検索システム



千駄木小学校とくらしのみち



図：計画地周辺図



特別区道文第 865 号



私道



特別区道文第 866 号



文林中学校



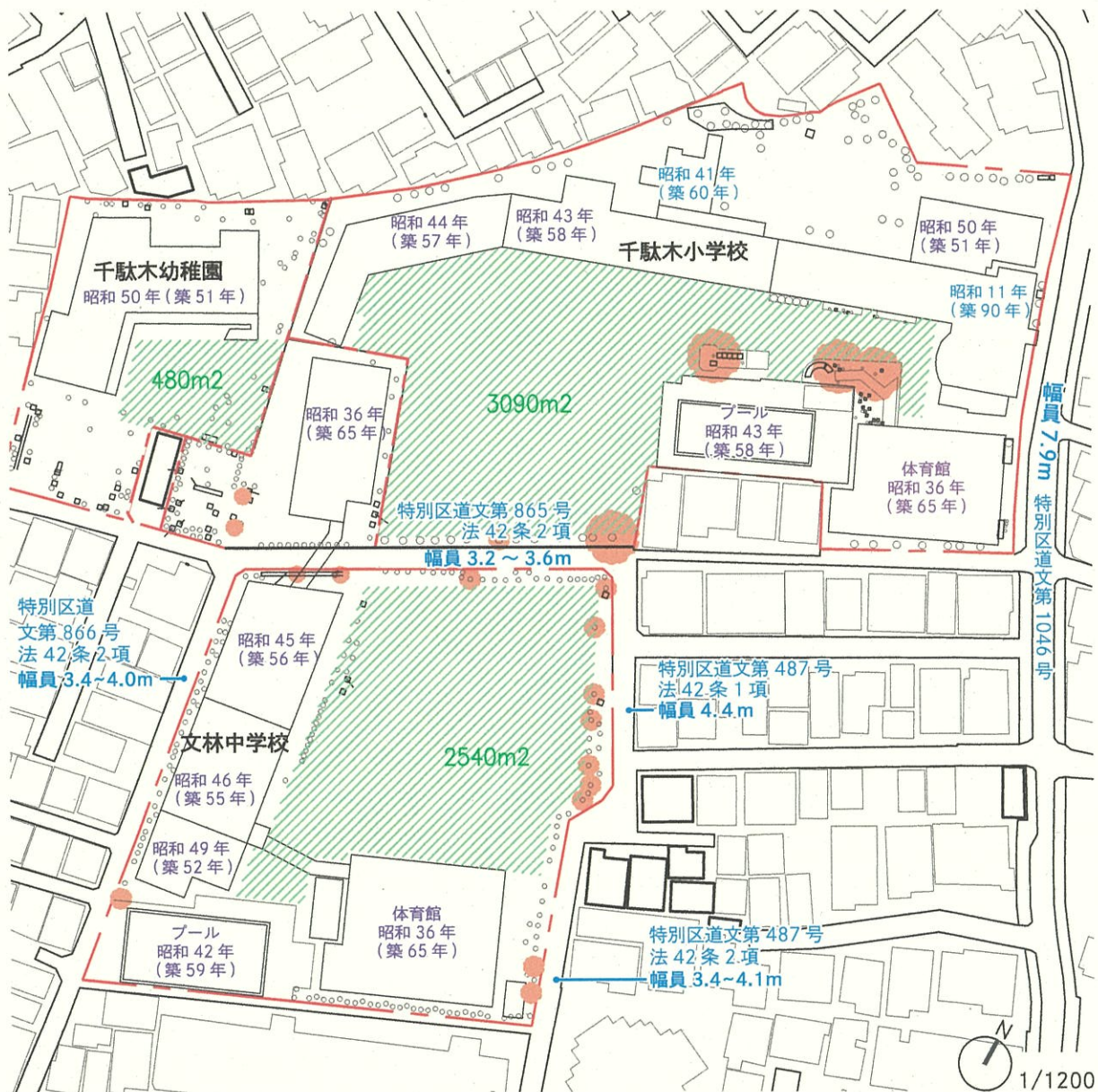
千駄木幼稚園



千駄木公園

(2) 各施設の概要

施設名	①千駄木小学校	②文林中学校	③千駄木幼稚園
敷地面積	8,764 m ²	8,319 m ²	2,310 m ²
校庭 面積	3,090 m ²	2,540 m ²	480 m ²
校舎 延床面積	5,547 m ²	4,841 m ²	1,188 m ²
構造	RC造	RC造	RC造
築年数	下図参照	下図参照	51年
体育館 面積	606 m ²	723 m ²	
構造	RC造	RC造	
築年数	65年	65年	
学級数	24	6	6
※令和8年度時点			



※築年数は、令和8年時点のものとする。

※校庭の面積は、実際に使用している部分を図面データにより計算したもの。

図: 実際の校庭面積と各建物の築年数

(3) 計画建物の想定諸室

【千駄木小学校】

※小学校・中学校は屋内温水プールを共有する

用途	室名	室数	室名	室数	室名	室数	室名	室数
普通教室	普通教室	24	少人数教室	6	特別支援教室	1	別室対応教室	1
特別教室	理科室	2	音楽室	2	図工室	2	家庭科室	1
	準備室	4	図書室	1	教育相談室	1	ホール	1
	和室	1	多目的室	1以上				
管理諸室	校長室	1	職員室	1	事務室	1	主事室	1
	保健室	1	給食室	1	放送室	1	印刷室	1
	会議室	1	校歴室	1	防災備蓄倉庫	1	PTA室	1
	教材室	3以上						
体育関係	体育館	1	プール※	1				

【文林中学校】

※小学校・中学校は屋内温水プールを共有する

用途	室名	室数	室名	室数	室名	室数	室名	室数
普通教室	普通教室	6	少人数教室	3	特別支援教室	2	別室対応教室	1
特別教室	理科室	2	音楽室	2	技術室	1	家庭科	1
	美術室	1	準備室	5	図書室	1	生徒会室	1
	進路相談室	1	教育相談室	1	多目的室	1以上		
管理諸室	校長室	1	職員室	1	主事室	1	保健室	1
	給食室	1	放送室	1	印刷室	1	会議室	1
	事務室	1	防災備蓄倉庫	1	PTA室	1	教材室	3
体育関係	体育館	1	プール※	1	格技場	1		

【こども園】

用途	室名	室数	室名	室数	室名	室数	室名	室数
保育室	保育室(1~2歳)	2	保育室(3~5歳)	6				
特別教室	遊戯室	1	小ホール	1				
その他	園長室	1	職員室	1	教材室	1以上	給食室	1
	保健室	1	会議室	1	相談室	1	主事室	1
	職員休憩・更衣室	1	洗濯室	1	倉庫	2	多目的室	1以上

【千駄木育成室、文林中学校育成室、文林中学校第2育成室】

用途	室名	室数	室名	室数	室名	室数	室名	室数
育成室	保育スペース	各1	キッチンスペース (洗濯機スペース付き)	各1	事務スペース	各1	静養室	各1
	シャワー室	各1	職員更衣室	各1	倉庫	各1		

※今後の設計において、各室の具体的な仕様等を検討する過程で、諸室の室数等が変更となる可能性がある。

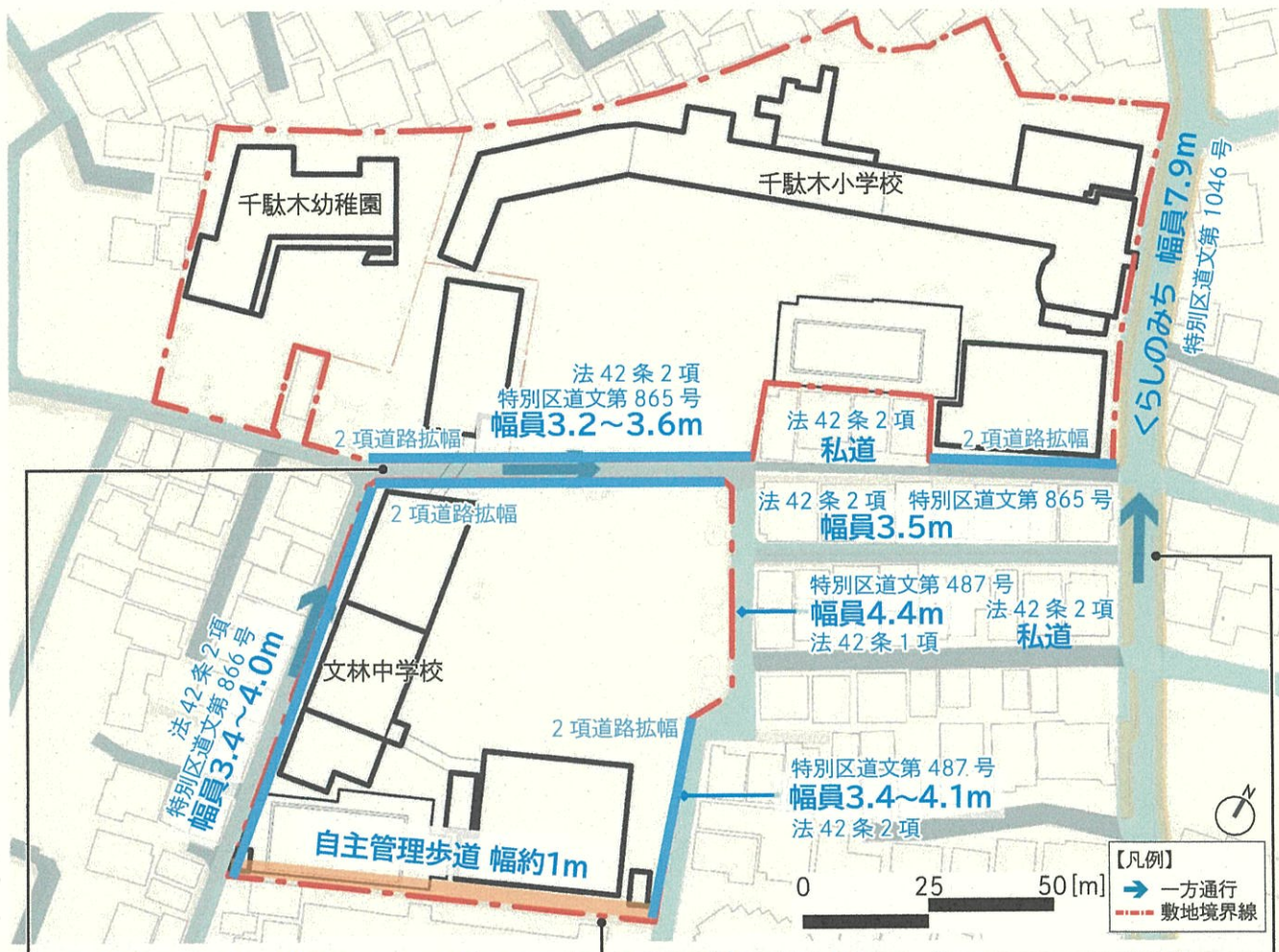
(4) 設計に向けての留意事項

① 高さ制限

本計画地は、道路斜線制限及び隣地斜線制限に加え、17m第三種高度地区や日影規制の指定が適用されるため、建物の高さが制限される。

② 道路幅員

建築基準法42条2項に基づき、特別区道文第865号、特別区道文第487号、特別区道文第866号及び現小学校体育館南側の私道は道路拡幅が必要となる。また、道路拡幅と併せて歩道状空地を整備し、見通しが良く通行しやすい環境を整えることが重要である。幼児・児童及び生徒等の安全確保のため、通行車両の速度低減を目的とした道路整備についても検討する。



左側：中学校、右側：小学校



自主管理歩道



くらしのみち

図：計画地周辺の道路幅員等

③ 建替え工事中の留意点

ア 工事期間について

計画地周辺は狭あい道路が多く住宅地のため、搬出入車両の規格に制限がある。また、3校園舎の一体改築であることから、事業全体の工事期間は長期化する。

イ 計画方針について

- ・各施設の適切な教育環境及び利用者の安全を確保するための仮設計画を検討し、近隣に配慮した工事車両動線とする。
- ・工期短縮に寄与する建設方法等を検討する。

(5) 事業スケジュール（予定）

	R8	R9	R10	R11 年度以降	
設計	基本設計	実施設計			
改築 工事			工事 発注	校園舎建設	校庭 整備

※事業スケジュールについては、今後の検討により変更となる可能性がある。

3 基本計画

本基本計画は、小学校、中学校及び幼稚園等の施設を一体的に改築するにあたり、19,393 m²の敷地を最大限有効に活用するための配置計画やプールの整備手法、施設間で共用する機能等、基本設計の根幹となる方針について、地域懇談会での意見交換を踏まえ、取りまとめたものである。今後の基本・実施設計については、本基本計画を踏まえつつ、建築諸条件や経費等、諸条件を総合的に判断の上、検討を進めていくものとする。

(1) 配置計画等

① 計画建物

- ・千駄木小学校、文林中学校及び千駄木幼稚園の校舎は北側敷地（現千駄木小学校敷地）に集約し、各施設の交流がしやすい配置とする。
- ・育成室は、南側敷地（現文林中学校敷地）の西側に配置し、住宅地との緩衝帯とする。

② 校庭・園庭

- ・校庭は南側敷地に整形かつ広い校庭を整備する。校庭は小学校と中学校で兼用して使用することとし、同時に使用する際の安全面にも配慮した計画とする。
- ・園庭は既存園庭と近い位置に整備し、土の園庭を継承する。

③ 体育館

小学校は2階、中学校は1階にそれぞれに専用の体育館を整備する。地域の防災拠点及び社会教育の場であることを踏まえ、くらしのみちからアクセスしやすい配置とし、エレベーターの設置等、地域住民の利用にも配慮した計画とする。

④ 給食室

小学校と中学校で共有する。必要諸室全体のバランスや、小学校・中学校双方への給食運搬動線、食材運搬車両動線等を考慮した配置とし、湿気対策等にも配慮した計画とする。

⑤ 職員室

小学校と中学校それぞれに整備する。教職員による見守りがしやすいよう、2階の校庭側に配置する。

⑥ 特別教室

- ・全学齢のこどもがアクセスしやすい場所にオープンな図書スペースを設ける。
- ・小学校と中学校の合同練習や発表に使える広い音楽室（音楽ホール）を1階に設ける。

⑦ 外構計画等

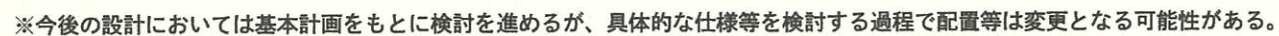
- ・救助・消火活動のため、敷地北側に緊急車両動線を確保する。
- ・通学時及び道路横断時の安全確保のため、歩道状空地等を整備する。
- ・既存校舎の記憶を継承する樹木は、工事の支障にならない限り、保存又は移植等の対応を行う。

(2) プールの整備手法

年間を通して利用可能な屋内温水プールを整備する。プール機能は、千駄木小学校と文林中学校で共有することを前提とし、水深を調整できる可動床を導入することで、利用者の年齢や目的に応じた運用を可能とする設備とする。

(3) 基本設計に向けて

上記以外の地域懇談会の中で挙げられた意見（P13～17）及び在園児・在校生から聴取した意見（P18～20）については、上記の配置計画を前提に設計を進めていく中で、可能な限り取り入れられるよう検討していく。

[illegible]

4 文京区千駄木小学校、文林中学校及び千駄木幼稚園等改築基本計画に関する地域懇談会

(1) 概要

学校関係者及び地域住民等の意見を設計内容に反映することを目的として、各回テーマを設定してグループディスカッション等を実施した。(全6回)

(2) 参加者

所属		所属	
小学校	千駄木小学校校長	育成室	千駄木育成室父母会
	千駄木小学校PTA		文林中学校育成室父母会
	千駄木小学校学校運営協議会		文林中学校第二育成室父母会
	千駄木小学校地域学校協働本部	地域等	千駄木東林町会
	千駄木小学校同窓会		千駄木西林町会
中学校	文林中学校校長		千駄木三丁目北町会
	文林中学校PTA		上動五三会
	文林中学校学校運営協議会		動坂中町会
	文林中学校地域学校協働本部		動坂町会
	文林中学校同窓会		汐見青少年健全育成会
幼稚園	千駄木幼稚園園長	その他	公募区民
	千駄木幼稚園PTA		学識経験者

(3) 各回のテーマ

第1回：令和7年 7月24日(木)	大切にしたいこと
第2回：令和7年 8月26日(火)	どんなかたちがあり得るのか見てみよう①
第3回：令和7年 9月25日(木)	どんなかたちがあり得るのか見てみよう②
第4回：令和7年11月 6日(木)	施設の配置を考えてみよう①地域とともにある学校編
第5回：令和7年12月18日(木)	施設の配置を考えてみよう②環境編
第6回：令和8年 2月 5日(木)	基本計画案を見てみよう



(4) 配置比較検討

地域懇談会においては、都市計画及び建築基準法等の諸条件による制約を踏まえ、敷地の有効活用を図るため4つの配置案について検討を行った。あわせて、各配置案の特徴を整理・検討し、その内容について意見交換を実施した。

B案は、他案と比較して、敷地を有効活用でき広い校庭の確保が可能である。また、職員室から校庭を見渡せるため、3校園の独立性を保ちながら、一体的な施設計画が可能である。さらに、体育館等がくらしのみちに面しており、利便性の高い配置計画となっている。これらを踏まえ、B案を基本として、地域懇談会における意見等を反映しながら配置案を決定していく方針とした。

【凡例】		A案	B案	C案	D案
- 小学校 - 中学校 - こども園 - 共用 - 育成室 - 児童等出入口 - 地域出入口 - 敷地境界線					
検討項目					
校庭	大きさ	◎ 広くてかたちがよい (5,400 m² + 2,200 m²)	◎ 広くてかたちがよい (5,400 m² + 北側広場)	△ 現状より狭くなる (2,300 m² + 2,700 m²)	○ 広いが形がよくない (5,400 m²)
	小中共用	△ 小中の運用に工夫が必要	△ 小中の運用に工夫が必要	○ 小中の運用を別々に管理できる	△ 小中の運用管理に工夫が必要
校庭と校舎の関係		△ 距離が遠い △ 道路を横断する	○ 距離が近い (職員室から校庭を見渡すことができる) △ 道路を横断する	○ 距離が近い (職員室から校庭を見渡すことができる) ○ 道路を渡らずに行ける	× 距離が遠い △ 道路を横断する
桜 (記念樹)		○ 有効に保存できそう	○ 有効に保存できそう	△ 校庭中央にあり伐採・移植の検討が必要	△ 校庭中央にあり伐採・移植の検討が必要
来客アクセス (くらしの道から)		○ 来客後すぐ校舎で受付できる	○ 来客後すぐ校舎で受付できる	△ 出入口と受付が離れている	△ 出入口と受付が離れている
体育館		△ 1FL がない	○ 1FL がある	△ 1FL がない	△ 1FL がない
	くらしの道からのアクセス	△ 体育館が奥まった位置にある	○ 体育館へのアクセスがよい	△ 体育館が奥まった位置にある	△ 体育館が奥まった位置にある
	災害時利用 (活動スペース)	○ 体育館周辺に十分な広さがある	○ 体育館周辺に十分な広さがある	△ 体育館周辺に空地の確保が難しい	△ 体育館周辺に空地の確保が難しい
車		○ 3校園にくらしの道から進入可能	○ 3校園にくらしの道から進入可能	○ 幼・小：くらしの道から進入可能 △ 中：狭あい道路を使用	○ 幼：くらしの道から進入可能 △ 小・中：狭あい道路を使用
	搬入	○ 3校園にくらしの道から進入可能	○ 小・中：くらしの道より 幼：西側道路より	△ 3校園とも西側道路より	△ 3校園とも西側道路より
	バス・Bーぐる	○ 道路から建物をセットバックさせるとよさそう	○ 道路から建物をセットバックさせるとよさそう	△ 道路沿いにバスの寄り付きと待合スペースの検討が必要	△ 道路沿いにバスの寄り付きと待合スペースの検討が必要
幼小中の連携		△ こども園が小中と車路により分断される	○ 3校園を一体的施設として計画できる	△ 幼小中が独立する。特にこども園は小中と分断される	△ こども園が小中と分断される
昇降口		○ いろいろな方向からアクセスできる 昇降口前にゆとりがある	○ いろいろな方向からアクセスできる 昇降口前にゆとりがある	△ 昇降口が道路に面して集中しておりゆとりがない	△ 昇降口が道路に面して集中しておりゆとりがない

※第2・3回地域懇談会にて提示

(5) 意見まとめ | 計画に取り入れたことと今後の課題

①校(園)庭・遊び場

地域懇談会で出た主な意見

- ・広い校庭・園庭を確保してほしい。
- ・開放的で明るい、視認性(見守り・防犯)がある校庭・園庭にしてほしい。
- ・小・中・育成室の活動内容・時間や体格差に配慮した使い分けが必要。
- ・多様な遊びができる場所がほしい。
- ・校庭にも倉庫や部室、トイレ等が必要。見守りにも利用できるような建物を配置してほしい。
- ・周辺住宅(特に現在校庭に面さない西側、南側)に対する音と視線の問題への配慮が重要。
- ・校庭の暑さ対策が必要。日陰をつくる工夫や散水設備等の導入を検討してほしい。
- ・人工芝など、水はけや飛砂対策、防滑性など機能性・安全性・近隣住環境への配慮した舗装にしてほしい。
- ・夏祭りや地域イベントに使用したい。
- ・校庭の地域利用に関して、小中校庭が1つに集約されることによる利用制限が懸念される。
- ・学齢差に配慮した安全な遊び環境がほしい。

基本計画に取り入れたこと

- ・小中一体の校庭を計画。現状の小中校庭の合計面積と同等以上の広さを確保する。
- ・校庭以外にも、広場・テラス・裏庭など複数の遊び場を計画。
- ・校庭に付属棟(育成室棟)を計画し、1階に倉庫・トイレを計画。
- ・付属棟(育成室棟)は校庭の西側に計画し、校庭と住宅地との緩衝帯とする。
- ・校庭外周には植栽帯を設ける。
- ・教職員による見守りがしやすいよう、職員室は2階の校庭側に配置する。
- ・校庭の土ぼこり等が飛散しにくい舗装にする。

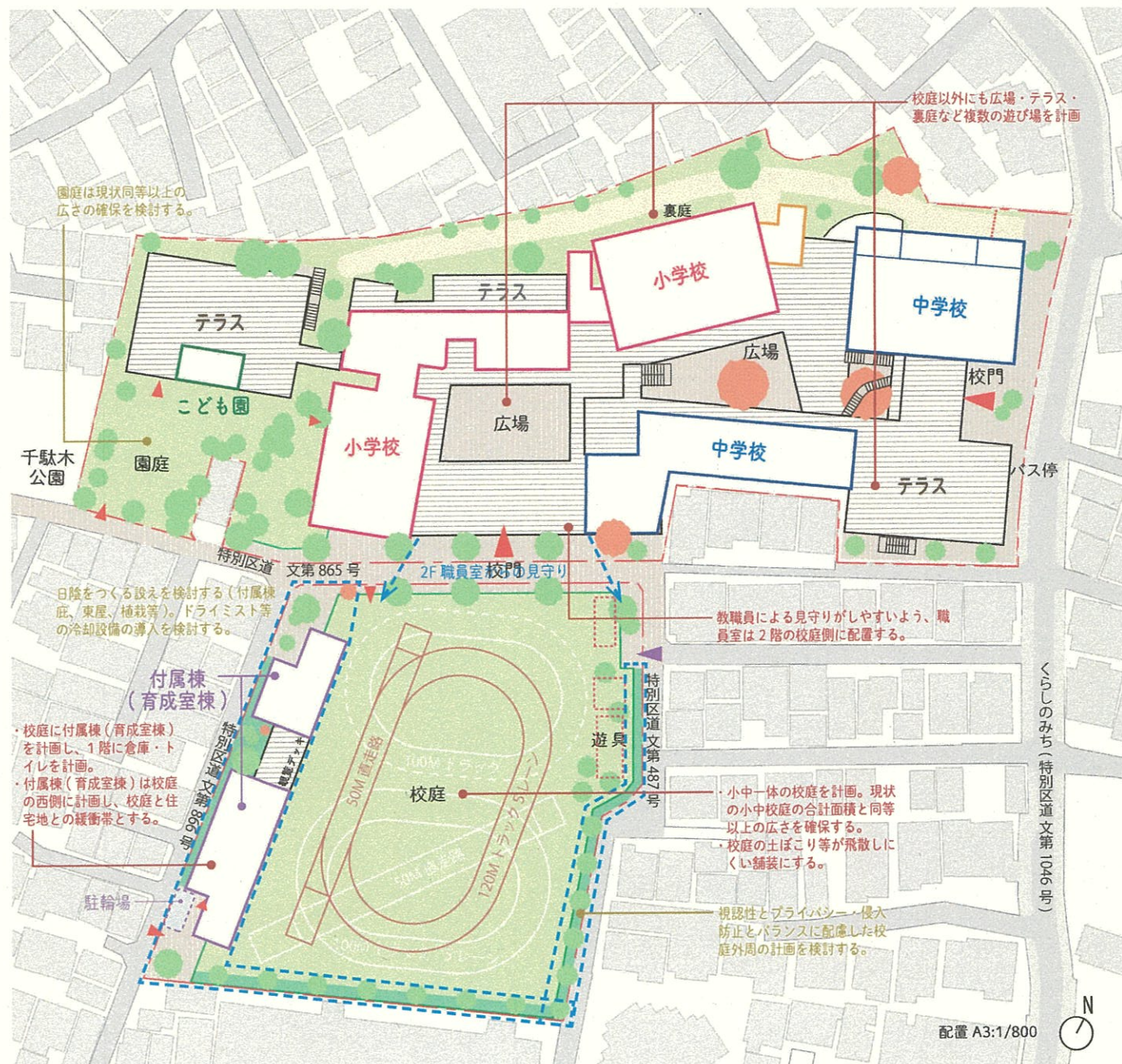
今後検討すること

設計で検討すること

- ・園庭は現状同等以上の広さを確保することを検討する。
- ・視認性とプライバシー・侵入防止とバランスに配慮した校庭外周の計画を検討する。
- ・緑化と開放性のバランスに配慮した高木等の計画を検討する。
- ・校庭における小中の活動エリアの仮想的な境界がわかるしつらえを設計で検討する。
- ・広場やテラスの使い分け、仕様などを設計で検討する。
- ・日陰をつくる設えを検討する(付属棟庇、東屋、植栽等)。ドライミスト等の冷却設備の導入を検討する。
- ・夜間照明(防犯灯)の設置を検討する。
- ※ナイター照明が必要か、近隣への配慮も必要
- ・放送設備の設置と近隣対策(子ども達がのびのび活動できるよう周囲への音の対策など)を検討する。

学校等の運用で検討すること

- ・小中一体の校庭について類似実績を確認。小中の使い分けに関する運用上の工夫を検討する。
- ・付属棟(育成室棟)1階の控室を教員の居場所とする運用を検討する。
- ・地域利用の運用について協議し、設計での対応の要否を確認する。



②体育館・プール

地域懇談会で出た主な意見

体育館

- ・全校児童・生徒や保護者が入れる広さがほしい。
- ・天候に左右されず運動できる体育館がほしい。
- ・式典や地域利用、防災時利用との兼用を想定したい。

プール

- ・屋内・温水プールにより通年利用できるようにしたい。
- ・プールを運動場としても活用したい。
- ・水位調整や管理のしやすさを重視したい。

基本計画に取り入れたこと

- ・体育館は小・中それぞれ1つずつ設ける。
- ・体育館・プールは地域利用や防災時を考慮し、くらしのみちからアクセスしやすい場所に配置する。
- ・プールは小中共用とし、全体で1か所とする。
- ・暑くならない状態で使える（年間通して利用できる）プールとする。
- ・価格差への対応のためプールは可動床とする。

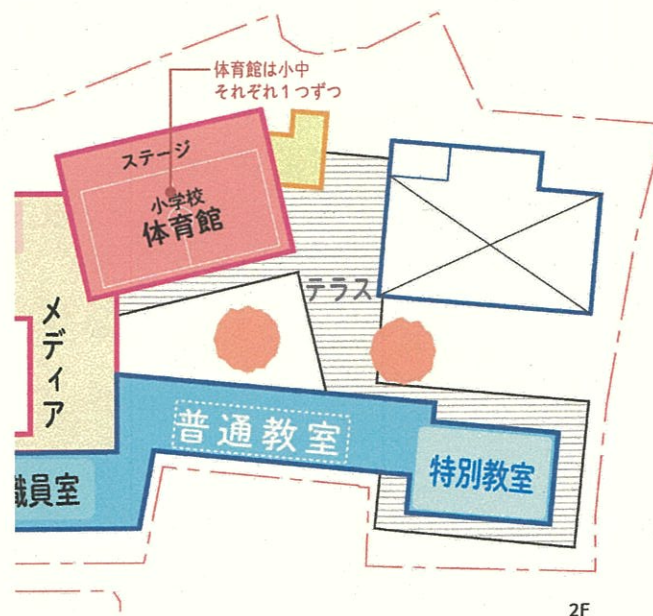
今後検討すること

設計で検討すること

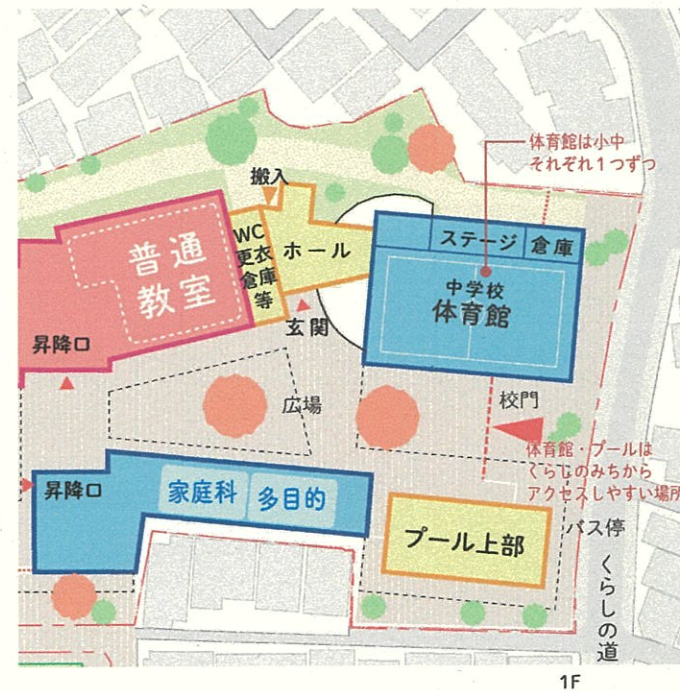
- ・体育館の具体的な広さや仕様を設計で検討する。
（小中ともに公式バスケットボールコート対応の広さを目標とする
か等検討）
- ・プールの運動場として使用可能な設えを検討する。

学校等の運用で検討すること

- ・施設の小中での共用は運用時の検討事項とする。
- ・プールの具体的な使用方法（学校による運動場としての活用／地域へのプール開放）

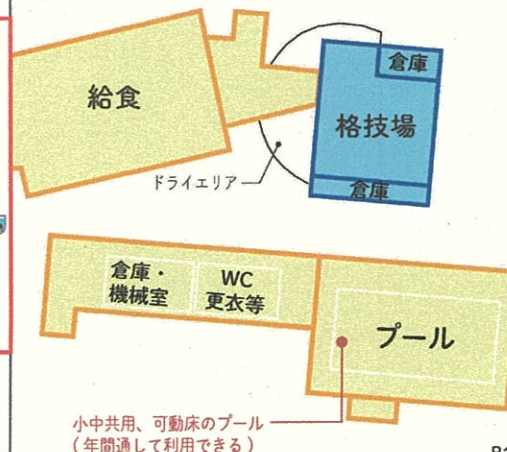
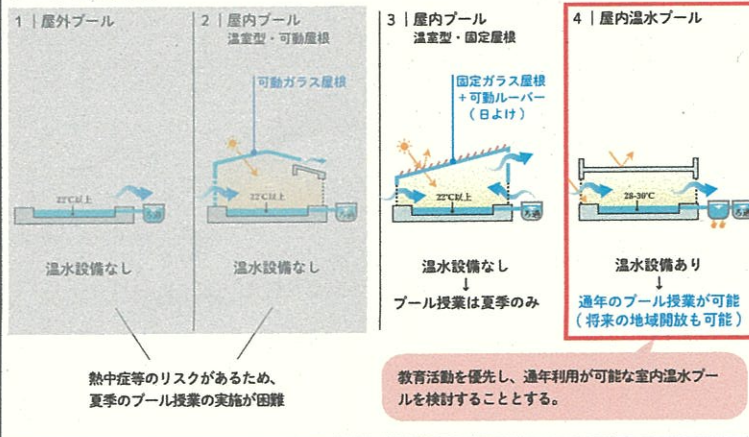


2F



1F

プールの設備検討



B1F

A3:1/800



③校舎

地域懇談会で出た主な意見

- ・明るく開放的な校舎にしてほしい。
- ・幼小中の連携できる環境にしたい。
- ・互いの活動が見えることで安心感や成長につながる
- ・図書や音楽、オープンスペースなどを年齢の違う子ども同士が連携、交流できる場にしたい。
- ・幼小中それぞれの使いやすさや落ち着き、安全性を確保することも大切。
- ・教育内容や児童生徒数の変化に対応できる建物にしてほしい。
- ・ゆとりある教室空間や収納スペースがほしい。
- ・教育やICT環境の変化に対応できる設えにしてほしい。
- ・低学年教室まわりにデンなどの落ち着ける空間を設けることを検討してほしい。
- ・学年や発達段階に応じた設えができるとよい。
- ・先生方も働きやすい場所にしてほしい。
- ・幼小中で活動時間や授業時間が異なることへの配慮をしてほしい。

基本計画に取り入れたこと

- ・幼小中の校舎・園舎は北敷地に一体的な建物として計画し、幼小中の独立した居場所や動線を確保しながら、相互の交流が無理できるゾーニングとする。
- ・学年スペースは原則として
小学校：小人数指導等による学習に用いる教室を含め各学年5教室
中学校：小人数指導等による学習に用いる教室を含め各学年3教室
・全学齢の子どもがアクセスしやすい場所にオープンな図書スペース（メディアセンター）を計画する。
- ・小中合同の練習や発表に使えるよう、1階に大きめの音楽室（音楽ホール）を設ける。
- ・幼小中のエリアは可動式の間仕切り等で分けるが、相互に行き来できるようにする。

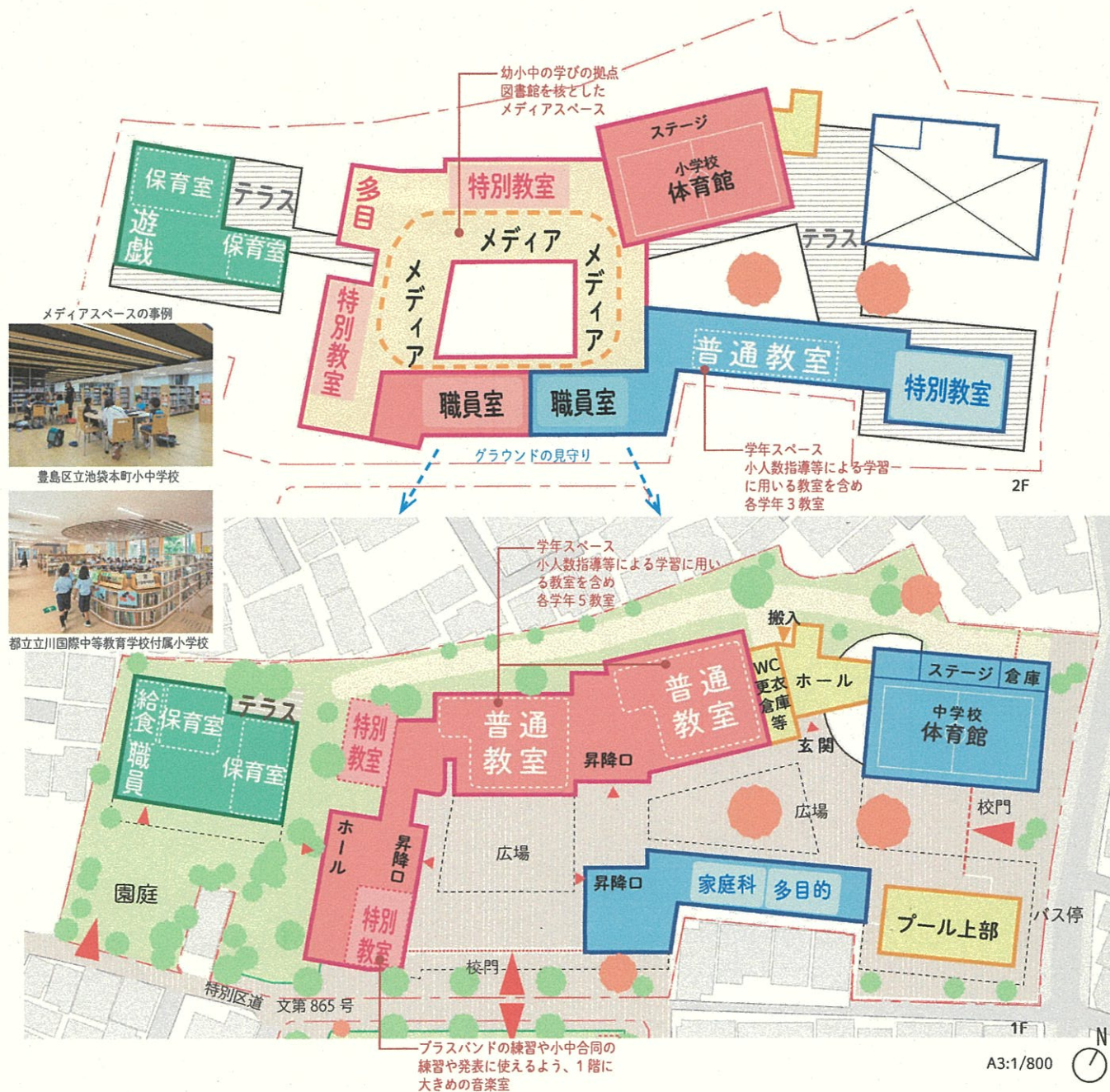
今後検討すること

設計で検討すること

- ・自然採光や自然通風を積極的に取り入れた明るく快適な校舎とする。
- ・動線や安全性に配慮しながらお互いの様子を感じられる構成やしつらえを検討する。
- ・メディアセンターが他学齢が利用する学習・交流の場として有効に活用できる平面・什器・運用を検討する。
- ・それぞれの施設の動線と安全対策を検討する。
- ・多様な用途に対応できる教室まわりのレイアウトを検討する。
- ・教室の広さと収納スペースにできるだけゆとりをもてるよう検討する。
- ・建物の長寿命化を図りつつ、設備等の更新やレイアウトの更新がしやすい計画とする。
- ・普通教室まわりにデン等、児童が落ち着ける居場所を検討する。
- ・学年や発達段階に応じた教室まわりのあり方を検討する。
- ・教職員が安心して快適に働ける学校になるよう検討する。

学校等の運用で検討すること

- ・チャイムの運用を検討する。
- ・共用する各施設の運用方法を検討する。



④防災・避難所

地域懇談会で出た主な意見

- ・地域の防災拠点としての安心感がほしい。
- ・緊急車両動線の確保が必要。
- ・避難時の快適性・動線を検討してほしい。
- ・避難所を2地域として運用するのか、1地域とするのかの方針が知りたい。
- ・体育館が1階にあると避難所として利用しやすい。
- ・特別教室（家庭科室・多目的室）を避難時に有効に活用できるとよい。
- ・屋根付きのスペースがあると災害時に活用できる。

基本計画に取り入れたこと

- ・避難所利用時の負担軽減のため中学校の体育館は1階に配置する。
※敷地を有効活用するため、小学校の体育館は2階としている（EVの設置を検討する）。
- ・校舎全体の救助・消火活動に支障がないよう敷地北側に緊急車両動線を確保する。

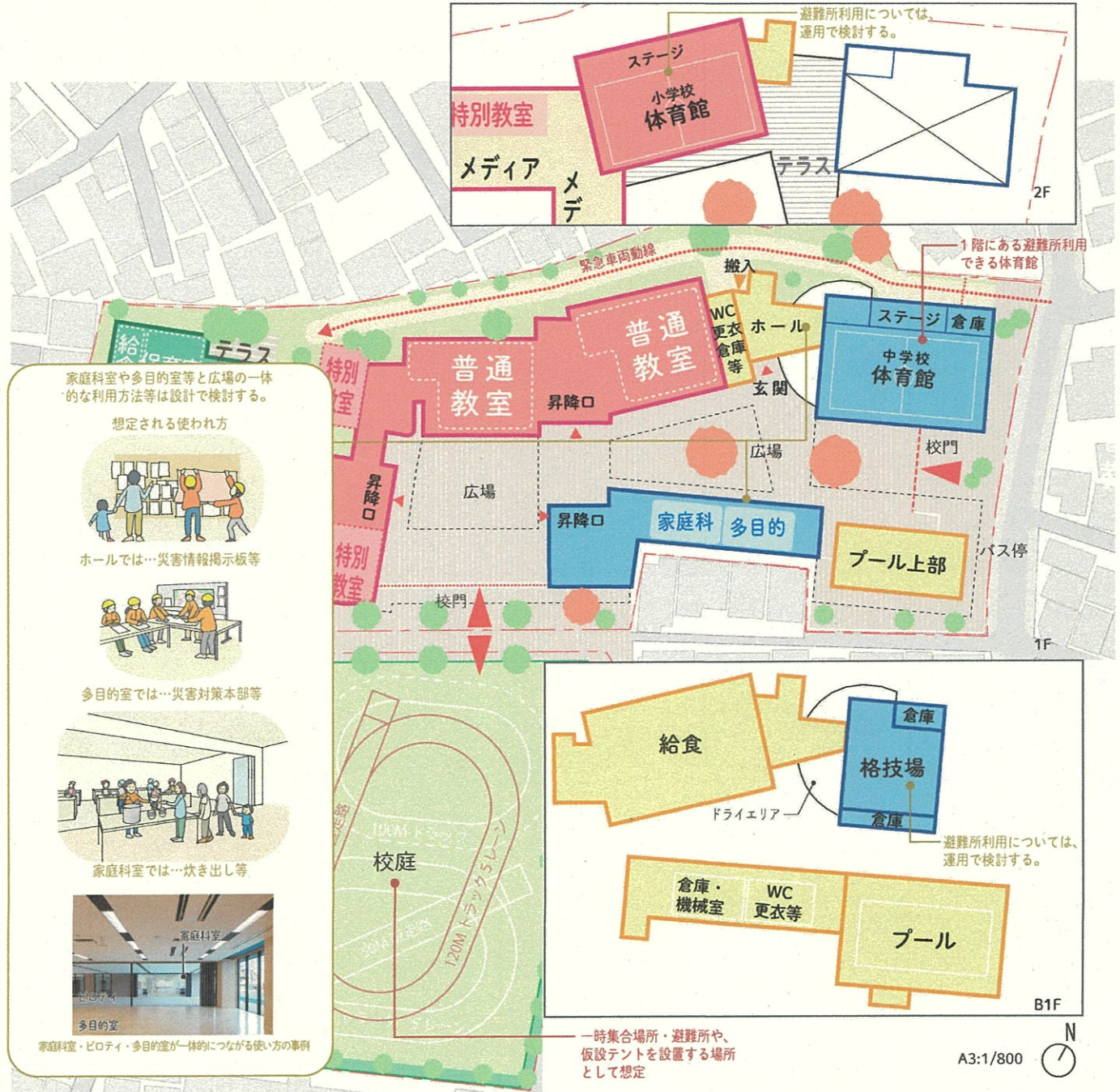
今後検討すること

設計で検討すること

- ・地域の防災拠点としての安全性（耐震性能、耐火性能等）を設計で確保する。
- ・体育館は自然採光、自然通風を確保できるよう設計で検討する。
- ・防災危機管理課との協議を継続し、備蓄倉庫や非常電源、水回り等の配置を設計で検討する。
- ・避難所の運用について防災危機管理課や避難所運営協議会等との協議により決定した方針に基づき計画する。
- ・避難時に活用しやすい家庭科室・多目的室の配置を検討する。また、避難所として一体活用しやすい広場の設置も検討する。
- ・体育館付近に屋根付きの屋外スペースを検討する。

学校等の運用で検討すること

- ・避難所運営協議会等と具体的な避難所の運用方法を検討する。



⑤道路・樹木・伝統・その他

地域懇談会で出た主な意見

道路に関すること

- ・通学時・校庭移動のための横断時の安全対策が必要。
- ・安全な通学路にしたい。引きのある、余裕のある歩道をつかってほしい。
- ・イベント時等に道路を封鎖できるようにしてほしい。
- ・くらしのみちから建物をセットバックし、バスが停車できるようにしてほしい。

樹木・自然環境に関すること

- ・緑豊かな環境を残したい。
- ・思い入れのある木や記念樹を大切にしたい。
- ・子どもの安全や工事のしやすさ優先し、樹木は無理に残さなくてよい。

伝統・愛着等に関すること

- ・校名や思い出を残したい(裏庭等の遊び場、広い玄関、学校の歴史、校舎からの眺望等)。
- ・在校(園)生が誇れる、懐かしさを感じられるような校(園)舎にしたい。
- ・アーチの外観など、既存校舎の記憶を継承する外観デザインに期待したい。

基本計画に取り入れたこと

- ・通学時や道路横断時の安全確保のため、道路まわりに歩道状空地を設ける。
- ・くらしのみち沿いは建物をセットバックし空地を設ける。
- ・既存校舎の記憶を継承する樹木に囲まれた学校づくりを行う。
- ・既存樹木は原則として保存するが、改築工事等の支障となり保存が困難な樹木については移植を検討する。保存・移植ともに困難な場合は伐採の上、新たな樹木を植栽し、緑豊かな環境づくりを行う。

今後検討すること

設計で検討すること

- ・安全性向上のための道路整備(歩道状空地との一体整備等)及び道路規制の適用に関連部署と継続して協議する。
- ・渡り廊下は、運用面を含め、動線等を整理した上で、必要性を検討する。
- ・バスが停車可能なスペースを検討する。
- ・自然観察ができるスペースを1か所以上計画する。仕様等は維持管理について学校等と協議の上で決定する。
- ・思い出を残せるような(玄関まわりの多目的スペースや校歴保管(展示)スペース等)計画を検討する。
- ・旧校舎の記憶の継承を意識した外観デザインを検討する。
- ・眺望を意識した窓やテラスを検討する。

残したいものの例



5 こどもの意見聴取

新しい校舎の基本計画案をもとに、今後の設計内容に園児・児童・生徒の意見を反映させることを目的として、アンケートを実施した。

※在校園児数は令和8年2月～3月にアンケートを実施。

(1) 千駄木幼稚園

【テーマ】園庭で好きな遊び方はなんですか？

【対象】千駄木幼稚園 園児 77 名

① 園庭について

- ・築山から駆け下りたり、広い園庭で走ったり、鬼ごっこをしたりすること。
- ・三輪車や、ビックスライダー（大きな三輪車）、一輪車で遊べる広い庭がよい。
- ・広い砂場で、穴を掘ったり、（水路を作って）水を流したりすること。
- ・落ち葉を集めて、葉っぱのスライダーをしたい。（滑り台）葉っぱがいっぱいあるといい。

② 遊び場について

- ・登り棒、雲梯、鉄棒、ブランコ、滑り台、ジャングルジムで遊ぶこと。
- ・丸太小屋に登ることや、基地にして遊ぶこと。
- ・靴鬼やドッジボールで遊ぶこと。
- ・ゆらゆら橋を渡って遊ぶこと。
- ・石の滑り台（避難滑り台）を滑って遊ぶこと。
- ・ロープのあるアスレチックで遊びたい。
- ・シーソーがあるとよい。

③ その他

- ・ウルトラマンごっこや、机といすのところでままごとをすること。
- ・かくれんぼでは、木に隠れたい。サクランボなど、木がいっぱいあるとよい。
- ・菜の花やタンポポなど、花が咲いていてほしい。蝶が飛んでいる庭がいい。虫を探して遊びたい。

(2) 千駄木小学校

【テーマ】新しい学校でどのような過ごし方・遊び方をしたいですか？

【対象】千駄木小学校 児童 818 名

① 体育館について

- ・ひろびろとパラリンピックのボッチャができるようなホールがほしいな。
- ・体育館を広くしてほしい。
- ・体育館で竹馬ができるようにしたい。
- ・たくさんのクラブが活動する広い場所が欲しい。
- ・人数にふさわしい校庭と体育館にしてほしい

② 遊び場について

- ・ゆうぐをもっとふやしてください
- ・おくじょうをひろくしたり柵を長くしてバスケットボールができるようにしてください。
- ・一輪車をふやしてほしい。
- ・遊びはブランコとトランポリンをしたいです。
- ・球技ができる遊び方をしたいから球技ができる施設が欲しい！
- ・広い校庭や体育館で幼、小、中学校で遊べるようになってほしい。
- ・外遊びが苦手な人でも楽しいと思えるよう遊具を入れてほしいです。
- ・外からは、校庭が見えないようにして安心して遊べる風にしてほしい、遊び場を広くし、中休み・昼休みに自分が遊びたいところで遊べるようにしてほしいです。
- ・上にネットをつけたい。

③ 校庭について

- こうていをひろくしてほしい。
- ドッジボールで遊びたい
- いろいろな遊具があると、もっと楽しくなる。アスレチックなど。
- ブランコとベンチを作してほしい。
- 転んでも、痛くない地面がいい。
- ちょっと校庭に行くまでに時間がかかるもうちょっと早くしてほしい。
- 広場に自然を作ってください。
- めちゃくちゃ校庭が広くてみんなで一緒に鬼ごっこがしたい。
- 校庭を広くしていろいろな遊びを同時にできるようにしてほしい。
- 校庭に外でも本を読むことができる所やお年寄り、お子さんが休むことができる場所を作してほしい

④ プールについて

- ちかにプールをつくってほしいですなぜならぶーるがうえにあったらふゆになったらさむいからちかにぶーるをつくってほしいです。
- 雨や、あつい日でも、プールに入ることができるようになってほしい。
- 雨の日でも使えるようにプールに屋根をつける。
- プールは室内で、シャワーの水は温かくしてほしい。カフェテリア的なものも設置してほしい。
- 温室プールにしてほしいです。季節にあわせて温度を変えてほしいです。

⑤ 校舎について

- としよ室を広くしたいと思います。
- トイレをたくさんつくってほしいしベンザをあたたかくしてほしい。
- 一人でリラックスする場所つくってほしい。
- 足音を吸収できる床にしてほしい
- 図書館がほしい。
- 階段がエスカレーターになって欲しい。音楽室が、大きくなって欲しい。
- いろいろな人と触れ合えるように、卒業生や地域の人も入れるようにしてほしいです。外遊びが苦手な人でも楽しいと思えるように遊具を入れてほしいです。食堂を入れてほしいです。早く完成してほしいです。
- 友達と自由にしゃべったりリラックスできる部屋が欲しい。
- ジュニオケと文林の吹奏楽部と一緒に演奏したい。
- 開放的な校舎がいい。
- 世界地図をかがけてほしい。
- 千駄木小学校の屋上にネットの天井をつけてほしい ボール遊びできるようにするために あとエレベーター、エスカレーターもつけてほしい

⑥ 教室について

- こくばんをひろくしてほしいです。
- 教室をもっと広くしたいです。
- 図書室を広くして、もっとたくさんの本を読みたいです。
- 競技かるたや昼寝ができる百人一首のかると畳がある和室が欲しいです。

⑦ 生き物について

- いきものがのびのびしあわせにくらしているところをじっくりかんさつしたいです
- ひろいいけがほしい。
- 鯉や、植物だけでなく、もっといろいろな生き物をかいたい（馬、ウサギ、鶏など）。
- 鯉以外の生き物がいい。
- 熱帯魚を見て癒されたい。ミヤコヒキガエルを飼いたい。

⑧ 樹木について

- ・木をいっぱい増やしてほしい。
- ・季節の植物や様々な木々が植えられている広場で休憩したい。
- ・自然がたくさんあって、安全に遊べる方がいい。

⑨ 施設共用について

- ・幼稚園の人と、小学校の人と、中学校の人が、みんなで一緒に遊べるようにしたいです。
- ・幼・小・中、年齢関係なしに、広い交友関係をきづきたい。

(3) 文林中学校

【テーマ】 改築後の配置図をみて、休み時間や放課後等にどのような過ごし方をしたいですか？

【対象】 文林中学校 生徒 142 名

① 校庭・遊び場等について

- ・天然芝のグラウンドでサッカーがしたい。
- ・校庭で遊びたいですが、渡り廊下がないので、道路を横断していく感じでしょうか？ 渡り廊下をつけてほしいです。
- ・校庭が広がるから休み時間は外に出たい しかし、小学生・幼稚園児と一緒にハリスクが高いと思う。
- ・休み時間には、小学校と中学校と幼稚園の友達と一緒に校庭で鬼ごっこをしたり、お喋りしたりしたいです。放課後には、小学校や中学校の友達を誘って、遊びに行ったり、図書室に勉強しに行ったりしたいです。
- ・テラスでゆっくり出来そう 校庭もとても広そうで楽しめそう。
- ・校庭が広がったけど幼児と中学生と一緒に遊ぶとなると少し不安 広場の地面の素材を変えた方が幼児には良いと思った。(固いし滑りやすいため)
- ・もう少し中学生の使う場所を多くしたい。プール地下はうらやましい 校庭を広くしてほしい。
- ・沢山外で運動したいから校庭大きい嬉しい。
- ・テラスでベンチに座って友達と話す。ホールで歌の練習。
- ・バドミントンをしたいです。
- ・体育館でバスケしたい。
- ・普段通り体育館や校庭で遊びたい。音楽室は広そうなので空き時間に開放してほしい。格技場では茶道部や柔道部が活動するしいと思う。
- ・メディアがどんな場所か知りたい。格技場が出来ることで柔道の授業が楽になる。プールが地下になると雨でも出来る。テラスは何が出来るか知りたい。

② 教室について

- ・自分の教室で本を読んだり、イラストを描いて過ごしたい。他学年と校庭などで一緒に過ごしたい。
- ・小学生、幼稚園児が共通の施設を利用するのは少し大変そうだと感じた。
- ・休み時間には小学校側に行って交流したい。文林生徒会と千駄木計画委員会の距離が近くあってほしい。
- ・合唱曲などを音楽室で練習して、朝礼とかの場で歌を披露したい。(みんなで) 小中連携で工作をしたい。
- ・音楽小ホールで演奏してみたい。

③ 施設共用について

- ・中学生と小学生の遊ぶ時間をずらしてほしい。また、中学生のフロアに小学生は極力入らないようにしてほしい。
- ・集団で登下校をして縦の関わりを増やす。休み時間に鬼ごっこをしたり読み聞かせをして幼稚園生が飽きない学校。
- ・小中合同で触れ合いが出来るようにしたい。
- ・休み時間に広場に行ったり、テラスに行ったりして小学生の子とも触れ合うような過ごし方をしたい。
- ・小学校の児童たちと話したり、一緒に遊んだり交流をする機会を増やしたい。

